

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第10回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報 告（公開）

（2）協議（公開）

- ・地域活性化の方向性について
- ・小・中学生へのアンケートについて
- ・令和4年度中郷区地域協議会活動報告会について

（3）その他（公開）

3 開催日時

令和5年1月12日（木）午後6時30分から午後8時10分まで

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：竹内靖彦（会長）、高橋京子（副会長）、荒川清尊、岡田龍一、高橋達也、竹内昭彦、松原功、村越勝彦、陸川昇一、陸川陽一、（欠席2人）
- ・ 事 務 局：中郷区総合事務所 高波所長、内藤次長（総務・地域振興グループ長兼務）、宮尾市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、桐山地域振興班長、津島地域振興班主事、恩田総務班長、兒玉産業建設業務窓口班長、不破税・市民生活班長、高橋福祉班長、野坂教育文化班長（以下、グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【桐山班長】

- ・ 会議の開会を宣言。
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内（靖）会長】

- ・ 会議録確認を荒川清尊委員と高橋達也委員に依頼。
- ・ 報告事項について、事務局、各委員に確認。（報告事項なし）
- ・ 協議に移る。協議（1）地域活性化の方向性について、事務局に説明を求める。

【桐山班長】

資料No.1 により説明。

前回の地域協議会で大枠の文言は決定していることから、構成要素について、各委員から提出のあったものを一覧にまとめた。提出のあった案には、具体的な内容が記載されたものもあったが、事務局としては、具体策等については、協議の中で決めていくこととし、構成要素としては、大切にしたい方向が共有できる文言がふさわしいとの考えから、改めて構成要素の事務局案を作成したものである。

【竹内（靖）会長】

委員のみなさんから、たくさんの意見があったことに感謝する。意見を出していただいた各委員から、補足を求める。

【高橋（京）副会長】

前回の事務局案の中に私の考えが含まれていたため異論はないが、現委員に女性が 2 人しかいないことから、女性の力を生かせる方向性が望めないかとの思いから構成要素を作成したものである。

【高橋（達）委員】

構成要素ということで、少し具体的な要素をイメージして作成した。今回、各委員から提出された 22 件が、新たに事務局が考えた構成要素 4 つのどこにそれぞれ含まれるか分類してもらおうと分かりやすい。また、「自己有用感」という言葉は、現時点で、地域住民に広く理解が得られていないと感じるため、他の言葉に変えたほうが良いのではないか。

【荒川委員】

事務局案で不足しているものとして、担い手不足が課題となっている中で、農業を含めた土地の活用が課題であるという考えで提案した。中郷の農業について

も考えていく必要があると思っている。

【村越委員】

「観光と産業の特色を活かしたまちづくり」を提案したが、範囲を広げすぎても取組が難しくなるため、先ずは、事務局案にある人づくりを中心に進めていくことが良いと考える。

この「活性化の方向性」というのは、いつまでの方向性を検討するか。1年先か、ある程度将来に向かってのものになるか。

【桐山班長】

明確な規定はしていないが、とりあえず現委員の任期中に目指す方向性であり、次期委員に引継ぐことも想定した内容で検討していただきたい。必要によって、いつでも変更が可能なものである。

【竹内（靖）会長】

活性化の方向性は、今後の検討にあたって、各委員の方向性を統一するものであるが、これに縛られるものでもない。しかし、委員交代の際も大きくぶれるものではないと考えている。

【松原委員】

私は、事務局案に加え、地域商店（小売店）の存続問題をあげたい。農業も含め、担い手不足により商店が減っている。商店がない町内会も多数ある。売り上げも上がらず赤字の商店が多いのが実態であり、何らかの支援ができないか協議する必要があると考えている。

【陸川（陽）委員】

人づくりを中心とした方向性に賛同するが、中郷区以外の人も含めた交流の拠点となるまちづくりを加えたい。子どもの居場所づくりにもつながる取組が必要だと考える。

【陸川（昇）委員】

大枠としては、事務局案でよい。具体的に協議する中で、農業や特産品についても考慮して協議を進めていければよい。

【竹内（昭）委員】

事務局案の中に大概のものが含まれるので、まずは、事務局案で進むことでよいと考える。

【岡田委員】

方向性、構成要素として考えた場合、事務局案に具体的なことは含まれるため、これでよいと考える。

【竹内（靖）会長】

住民福祉会の活動をする中で、地域協議会が考える活性化の方向性とリンクする部分が多いと感じている。地域活性化の方向性は、地域協議会の中だけで共有するものではなく、農業関係者や商工会など、いろんな団体にも認識してもらえるように広げて、具現化に向けて進みたい。

皆さんから出していただいた意見の整理と文言の整理も必要と考え、事務局案の構成要素 4 つに分類するシートを作成した。これから配布する私の作ったシートに分類して整理する。（この後、シートが配布され分類作業が行われた）

今ほど整理した内容を、会長、副会長と事務局で再検討し、次回の協議会までに改めて提示する。最終的には、3月に開催する地域協議会の活動報告会で地域のみなさんと共有することとする。

協議（2）小・中学生へのアンケートについてに移る。前回の協議内容について事務局に説明を求める。

【津島主事】

前回の協議内容について以下の点を確認。

- ・対象学年を、小学1年生から中学3年生までの全員とする。
- ・地域協議会委員が小中学校に出向き直接子どもたちに説明する。
- ・事前に保護者にアンケート実施のお知らせをする。
- ・性別、家族構成の設問を削除する。

【竹内（靖）会長】

アンケート内容の協議に入る前に、小中学校から訪問の日程が示されたので、出席できる委員を先に決める。（資料No.2を基に委員を割り振り）

アンケートの変更点と小中学校に出向きアンケートを実施する手順等について、事務局から説明を願う。

【津島主事】

資料「小学生版 あなたの声を聞かせてください」、「小学生アンケート説明シナリオ」、「中学生版 あなたの声をきかせてください」「中学生アンケート説明シナリオ」「保護者宛てアンケート依頼文書」について説明。

児童生徒から質問があった場合、回答の誘導につながらないように具体例はあげないこと、答えたくない場合は無回答であっても可とすること、時間配分に気を付けること、集計作業は総合事務所職員が行うことなど事務局案を説明。

【竹内（靖）会長】

アンケートについては、前回協議の内容を十分に反映した内容になっていると思う。また、新たにアンケート実施の際のシナリオも説明があったが、意見等はないか。(意見なし)

小中学生へのアンケートは、今回の事務局案で決定とする。

【高橋（達）委員】

前回の地域協議会から年末年始を挟み時間がない中で、アンケートの修正とシナリオを作成いただいたことに対し、事務局に感謝する。

【竹内（靖）会長】

協議（3）令和4年度中郷区地域協議会活動報告会についてに移る。事務局に説明を求める。

【桐山班長】

資料No.3を基に説明。

昨年度の次第をたたき台として、今年度の報告会について検討いただきたい。事務局としては、昨年第2部として実施した地域活動支援事業報告は、今年度、審査を総合事務所が行ったことと制度が今年度で終わることから、縮小してよいと考える。

【竹内（靖）会長】

事務局提案の内容で実施したいがよいか。

【高橋（達）委員】

内容については異論ない。昨年会場がはとぴあ中郷のホールであったが、委員がステージ、来場者が客席であると、来場者の方が発言しにくい雰囲気があるのではないか。

【竹内（靖）会長】

コロナ禍の状況に合わせて会場を検討したい。今回は、意見交換の時間を充実させたい思いがある。

今日の会議では、開催日を決定したい。3月の土曜日が良いと考えるが、委員の都合を確認する。(各委員の都合を確認)

3月11日（土）に決定する。時間は、午後1時30分からとする。次回の会議までに、各委員で内容を考えていただき、内容については、もう一度協議して決めることとする。

協議は、以上で終了とする。その他に移る。

2月11日（土）に中郷スノーフェスティバルが開催される。夕日ヶ丘整備の完

了記念の思いも含めたイベントでもあり、委員の皆さんも都合のつく範囲で参加
いただきたい。

次回の地域協議会は、2月14日（火）18時30分からとする。

9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165)

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。